

〈CFB-1ボードの使用法ならびに注意点〉

◎別紙の基本配線図通りに接続して下さい。信号入出力の配線は線材により相当音が変わりますので注意が必要です。使い慣れた良質の線材か、弊社のスパイラル線をお薦めします。電源配線用の線材は一般のビニール線でもさほど害はありません。但しグランド用は太めの線をお使いください。

◎一般に出力アッテネータ（ATT）は低域側に関しては不要です。

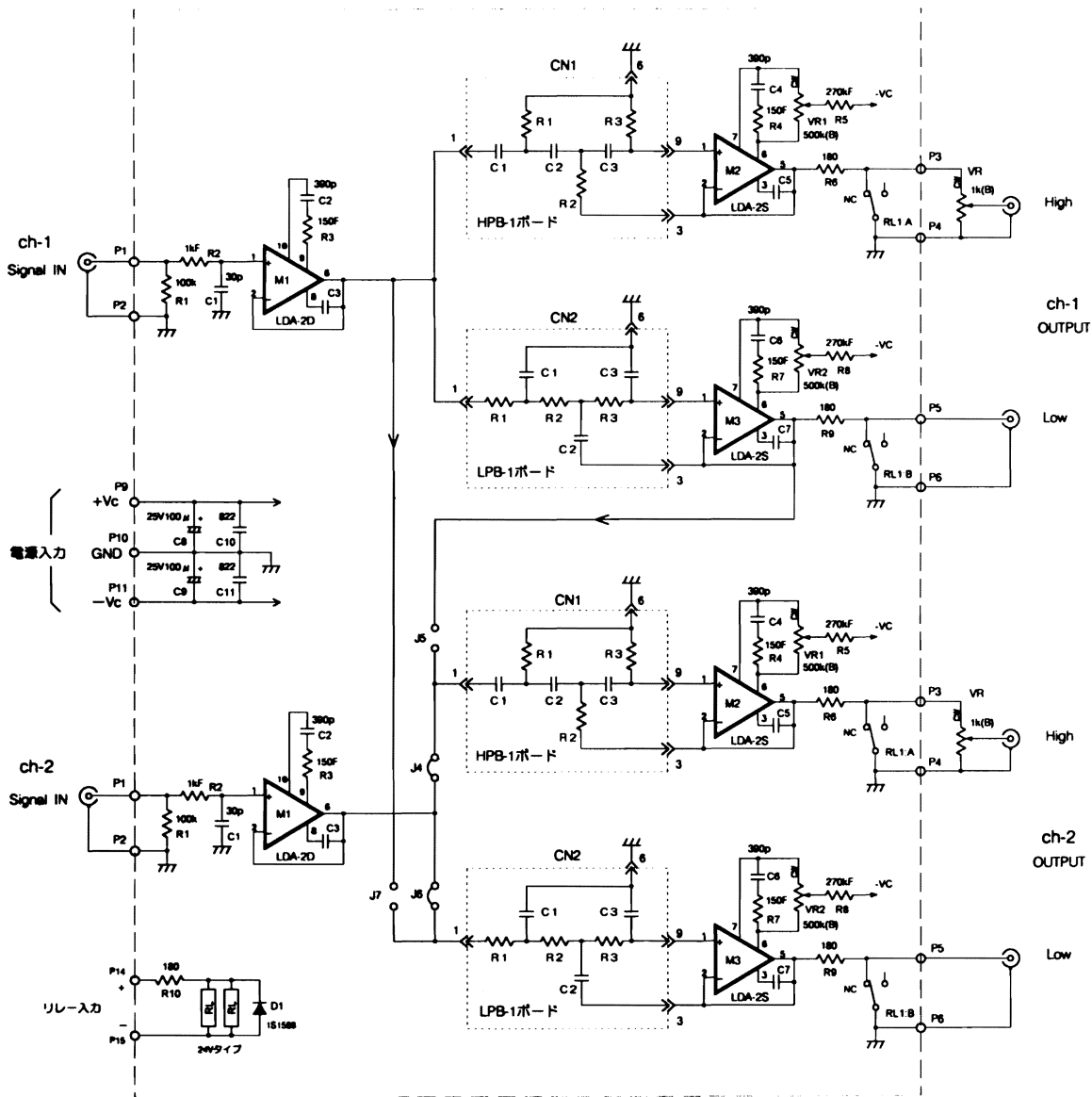
中、高域側は1k Ω のATTを入れることで約1dBゲインが低下しますので注意して下さい。

音質上、巻線VRをお薦めしますが、10回転VRの場合は右または左に回し切ったところで目盛りを正確に10.0, 0.0に合わせて取付けるのがポイントです。

◎3ウェイの場合、1枚のボードを片ch用に使うのが標準ですが、2→3ウェイの増設用に入力回路なしのタイプも用意いたします。

（CRボードを差替える時はVR1, 2でDCオフセットを取直して下さい）

◎スピーカーの極性は聴感で決める方法もありますが、周波数特性を視覚的にも確認したいときは弊社RC-1（レスポンスチェッカー）あるいはTS-1、SL-1をご利用ください。



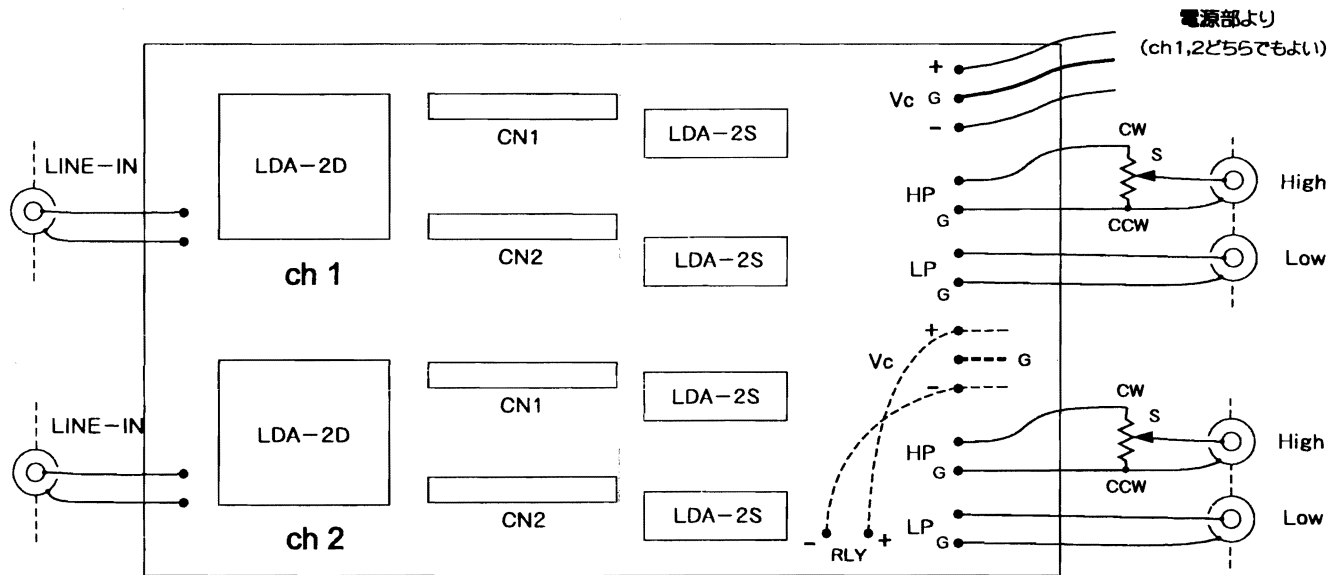
注: ●各ch共、同一部品&ピン番号

◎ch間ジャンパー

+Vc→J1 GND→J2 -Vc→J3

〔 CFB-1ボード 〕
 回路図 (2ch仕様)

CFB-1ポート
基本配線図



PWBD-1ポート以外
(一般の電源)では
必ずジャンパーを入れる